

令和6年度職員採用試験（第1回社会人経験者）
水産 専門記述試験（6.6.16）

次の2つの課題のうち、いずれか1つの課題について答えなさい。

＝ 課 題 1 ＝

○「広島かき」の輸出について

「広島かき」は年間約2万トンのむき身かきを全国に供給していますが、今後は人口減少や魚離れなどにより、国内需要が減少すると予測されます。こうした状況の中で現在の生産量を維持するためには、海外への輸出を拡大し、輸出量を増やしていく必要があります。国も農林水産物や食品の海外展開を進めている中で、「広島かき」の海外での認知度を高め、輸出を拡大していくためにはどのような取組が必要か、これまでの社会人経験をもとに、あなたの考えを述べなさい。

＝ 課 題 2 ＝

○広島県に適した資源管理手法について

我が国の漁獲量は長期的な減少傾向にあることから、国は漁獲量そのものを管理することで水産資源の維持を図るため、漁獲可能量（TAC）による管理を基本とする新たな資源管理制度を創設しました。

広島県においては、以前から法制度に基づく公的な規制に加え、休漁や体長制限、操業期間・区域の制限等の自主的な資源管理の取組が行われてきました。県海域は少量多種の魚が漁獲され、遊漁も盛んに行われている中で、どういった資源管理の取組が適しているか、あなたの考えを述べなさい。